

遊びの中での幼児の学び
(リレー遊びの事例)

自然との関わり
生命尊重

評価の観点の例

○バトンをもらったら走ることは知っている

★トラックを引いておく
バトンを用意しておく
△好きな時にリレーが楽しめるように準備する

○ラインを無視して走る

園庭で好きな遊びをする

走ることを楽しむ

健康な心と体

道徳性・規範意識の芽生え

友だちとリレーごっこが始まる

え〜っ! ずるい! 近道してる!

勝ったり負けたり。勝つことにこだわり始める

メンバー数の違いに気付く(量の違い)

チームをつくって走り始める

どうしたら勝てる?

数量・図形、文字等への関心・感覚

勝ちたい気持ちが強くなり、思わずショートカットをしたり、バトンを投げる幼児が出始める

ずるいことをしないための「決まり」があることに気付く

人数が多い方が遅くなる、負けることに気付く

思考力の芽生え

★クラス全体で考えられるよう話し合いの場をつくる

協同性

チームで勝つために考える
走る順番を考える
一人ひとりが早く走れるよう練習する

○平等にすることで勝負の公正さがわかり、チームで頑張る

自立心

クラスで話し合い自分の気付いたことを言葉で伝えどうすればいいか考え合う

どうしたら勝てる?

うまく走れない友だちをチームで支えようとする

言葉による伝え合い

みんなで頑張って勝って嬉しい! おもしろい! みんなで協力したら上手くいくことを実感。また『やるぞ』というチャレンジの気持ちが沸き上がる

▲白熱したリレーを楽しむことでクラス集団としての意識が高まった

▲負けて悔しい気持ちを、すぐあきらめず次へつなげていく姿が見られるようになった

白熱したリレーを楽しむ

○年少児や教師も応援してくれることが嬉しい。年長児として誇らしい気持ちになる。

豊かな感性と表現

社会生活との関わり

* 鬼ごっこなどルールのある集団遊びを発展させる
* ドッチボールやサッカー等々を楽しむ

* 年長児として園全体のことを考えた取り組みをする

* クラスで力を合わせて、制作活動や劇遊びを楽しむ